

令和4年度第4回常磐公園の緑を考える集い 報告書

1. 報告事項

- 常磐公園遊園地の遊具について

次年度に更新予定の遊園地内の遊具について、今後の予定等について報告致しました。

現在古くなったタコ遊具等に代わる、新たに設置する遊具のデザインや形状については今後子ども達や地域の方々の意見を参考にしながら決めていく予定です。遊具の配置については樹木と干渉しない場所かつ、遊園地を出ない位置とします。最終的な遊具の整備方針が決まり次第、市のホームページに掲載する予定ですので、ぜひ御覧ください。掲載は概ね来年の2月頃を予定しております。



報告事項

2. 自然更新ゾーン実生の移植

昨年危険木として撤去したヨーロッパアカマツの切り株の近くに(下記移植位置図)自然更新ゾーンにあるハルニレの実生を移植しました。

移植作業は1時間程度かかると想定しておりましたが、想定していた以上に作業が早く進み、概ね20分程度で移植作業は完了いたしました。

移植後に頂いた意見で、実生がイタズラ等で傷むことが無いよう、囲いや看板等を設置してはどうかと意見がありました。皆様との議論の結果、まずは公園緑地協会にて囲いを設置することとし、看板の設置の検討及び、看板を設置するとした場合の看板のデザインについては来年の集いの中で皆様と検討することと致しました。

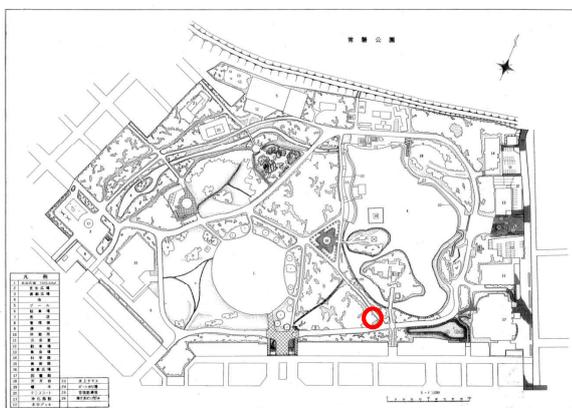
ちなみに、今回移植した実生について以前自然更新ゾーンから緩傾斜化区域に移植した実生の「カントロウ」のように、また皆様に親しみを込めて名前をつけるのもいいかもしれません。もし皆様の中で何か良い名前案があれば教えてください。

(ハルニレの「ハル」から「ハル〇」とか?)

今後も自然更新ゾーンにある実生の移植については集いの中で検討していきたいと思っております。



移植した実生(ハルニレ)



実生の移植位置図(○移植位置)



実生の掘取作業



軽トラックにて移植位置まで搬出



実生の植え込み作業



作業完了後

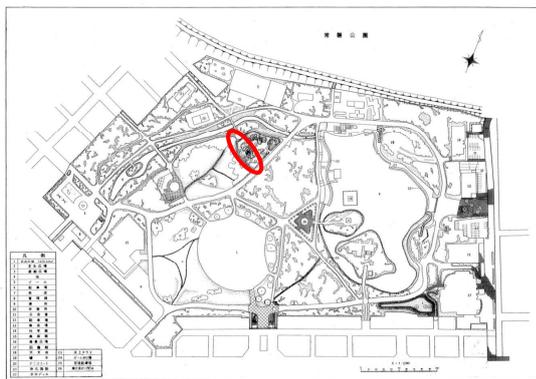
3. 日本庭園ゾーンの改良(伐採)

これまでも集いの中で課題としていた、日本庭園ゾーンを囲っているエゾマツについて、鬱蒼とした印象を解消するため、樹木の間引き作業を行いました。作業は日本庭園ゾーンの南側部分(下記作業範囲図)の範囲を行いました。

最初に撤去する樹木に目印としてガムテープを付けた後、皆様で手分けして間引き作業を行いました。

間引き作業後は日本庭園ゾーン内外からの景観がよく見え、鬱蒼とした印象も大分少なくなったと思います。

また、来年の集いの中で残り半分、北側部分の間引き作業を行いたいと考えております。



間引き作業範囲(○作業範囲)



間引き作業